

基礎講座「レファレンスについて」

沖縄赤十字病院 久高千秋

レファレンスとは「情報を求めている利用者に対して、図書館員が提供する個人的援助」である。担当者は、求められる情報や資料をどのように探し、到達できるかという知識と共に技術的なノウハウも必要となる。

レファレンスは大きく分けて、「事項調査」「文献調査」「利用指導」などがある。

事項調査とは、参考図書やインターネットなどを使用し、疑問や質問に対する回答を直接的に示す調査のことである。

文献調査とは、特定の内容について記述されている論文・文献を、効果的に利用するために網羅的・系統的に検索することである。

利用指導とは、図書室の利用方法のほか、データベースの利用法などがある。

まず、利用者の求める内容を正確に把握し、それらの情報がどのような方法で手に入るのか実際の事例を確認しながら進めていく。

そして、レファレンスの観点から持続可能な病院図書室について考えていく。